

【事務局からの重要なお知らせ】

現在、常任幹事会で大会開催の可否について検討を行っています。

明日 4/7 (火) の午後には結論が得られる見込みですので、すみやかにお知らせします。

大会を中止または延期する場合の措置について（再掲）

発表を申し込まれた会員（および昨年度に発表を済まされた会員）の皆さまにおかれては、論文投稿の機会がどうなるのかご心配かと存じます。当学会は日本学術会議協力学術研究団体、また日本郵便の指定する学術団体として、年1回以上は機関誌を発行する責務があります。このため、大会開催ができない場合でも、何らかの特別措置によって投稿の機会を確保して『地方教育史研究』は発行する方針で、詳細は常任幹事会で検討中です。通常通りにご発表・ご投稿の準備をお進めください。

また、総会の持ち方についても、現在、常任幹事会で検討中です。